

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 にぎわい戦略室 空港・観光課		担当課長名	村上 弘
(※)第2期実施計画の事業名	空港周辺活性化事業		財務会計上の事業名	空港周辺活性化事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1031	1	財務会計上の短縮番号	233
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第3節大阪国際空港の活用		
	項目	項目1空港を生かした地域づくり		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	大阪国際空港利用者の利便性確保や周辺地域の振興及び活性化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	○大阪国際空港利用者及び旅客 ○大阪国際空港周辺地域活性化連絡会 ○全国民間空港関係市町村協議会
事業の手段・方法(どのように)	○全国民間空港関係市町村との連携 ○空港及び周辺地域の活性化 ○空港機能の充実及び施設整備
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)	H30/H29					
事業費(千円)	302	480	782	1,782	162.9%					
主な内訳	負担金	287	88	88	88	100.0%				
	消耗品費	15	15	15	15	100.0%				
	報償金	0	341	669	1,670	196.2%				
人件費(人・千円)	0.61	4,514	0.58	4,408	0.42	3,276	0.37	2,886	72.4%	
内訳	正職員	0.61	4,514	0.58	4,408	0.42	3,276	0.37	2,886	72.4%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	0	0	0	-	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
臨時的任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
支出合計 A	4,816	4,888	4,058	4,668	83.0%					
財源	国・府支出金								-	
	地方債								-	
	その他()								-	
	うち受益者負担 B								-	
一般財源 C	4,816	4,888	4,058	4,668	83.0%					
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A										
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	空港周辺の自治体や団体等との情報交換・協議のうえで成り立っている事業であり、導入になじまない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	空港ビル屋上展望デッキ利用者数	千人	1,054	930	1,505	2,000	2,000
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	全国民間空港所在市町村との連携	自治体	90	91	94	92	95
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	大阪国際空港年間旅客数	千人	15,100	15,677	16,184	16,000	17,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	「空の日」来場者数	千人	16	10	11	20	12
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	「空楽フェスタ」来場者数	千人	5	10	9	9	10
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		大阪国際空港ターミナル改修の影響等で、減少傾向。但し、平成28年4月からは関西エアポート株式会社による民間運営が開始され、搭乗率の向上により旅客数が増加傾向にあるなど、長期的な見直しは良好。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(根本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(根本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	昨年4月に大阪国際空港ターミナルビルが一部リニューアルを機に、娯楽や飲食の設備が整い、注目度・関心度が従来より高くなっているため、来場者数は増加見込み。旅客数についても、本空港の発着回数は1日370回、運用時間は7時から21時までという運用規制はあるが、昨今の航空需要の高まりによって搭乗率が上昇すれば、さらなる増加が期待できると思料。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一昨年実施した「チキチキグルメフェスタinエアポート」に続き、昨年度「うまいde池田in大阪国際空港」を開催。その他にも、豊中市主催の大阪国際空港就航都市観光・物産展への参加等、空港を活用したにぎわい創出・就航都市間交流の拡充から本市への経済的波及効果等に結びつける。	
現在抱える課題と対策	課 題	現行事業の内容の見直し、および新規事業の財源確保や実行主体の決定など、継続性を確保するための方策が必要。
	対 策	空港という貴重な地域資源を核として、経済効果の増大や雇用・にぎわいの創出といった目標を掲げ、周辺自治体や就航都市、関係機関等と連携・協力することで解決を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後大阪では様々な国際的ビックイベントが控えている中、インバウンドを筆頭に我が国の航空需要は増加見込み。昨年度8年ぶりに再開された関西3空港懇談会において、大阪国際空港における将来的な国際線の就航の可能性についても触れられたところ。大阪国際空港所在市である本市としても、時代の要請に応えるべく様々な活性化事業に取り組み、国内外からにぎわいを呼び込む所存。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 にぎわい戦略室 空港・観光課		担当課長名	村上 弘	
(※)第2期実施計画の事業名	空港周辺騒音対策事業		財務会計上の事業名	空港周辺騒音対策事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1033	1	財務会計上の短縮番号	232	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第3節大阪国際空港の活用			
	項目	項目3周辺環境の整備			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	空港周辺地域住民の安全で良好な生活環境確保。
事業の対象(誰を、何を)	大阪国際空港周辺都市対策協議会(10市協)
事業の手段・方法(どのように)	○国や新関西国際空港株式会社、関西エアポート株式会社等への要望活動の実施 ○協議会の開催
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)	H30/H29					
事業費(千円)	115	245	139	279	56.7%					
主な内訳	負担金	60	61	61	62	100.0%				
	消耗品費	22	22	44	45	200.0%				
	燃料費	14	23	25	32	108.7%				
人件費(人・千円)	0.60	4,440	0.55	4,180	0.32	2,496	0.27	2,106	58.2%	
内訳	正職員	0.60	4,440	0.55	4,180	0.32	2,496	0.27	2,106	58.2%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	0	0	0	-	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
臨時的任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
支出合計 A	4,555	4,425	2,635	2,385	59.5%					
財源	国・府支出金								-	
	地方債								-	
	その他()								-	
	うち受益者負担 B								-	
一般財源 C	4,555	4,425	2,635	2,385	59.5%					
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A					-					
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	大阪国際空港に係る騒音問題や、歴史的経緯を踏まえた上での活性化など、空港周辺自治体、国、空港運営権者等との情報交換、協議によって成り立つ事業であり、導入に馴染まない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	目標値(H30)	元年度(予定)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	神田会館における騒音測定値	WECPNL	70	71	71	69	69
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	大阪国際空港環境対策費(新関西(株)・関西エアポート(株))	百万円	1302	501	282	500	500
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	協議会の開催	回	10	10	9	11	10
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	要望活動の実施	回	3	3	5	4	4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	環境対策については、平成28年4月より新関西国際空港株式会社が関西エアポート株式会社から特定業務として受託しており、特に大きなトラブルもなく順調に遂行されている。現在、機材転換の過渡期であり、騒音値は横ばい傾向。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	飛行ルート・低騒音機の導入に関して、改善の余地がある。なお、機材繰りの都合により短期的に騒音値が若干上昇する可能性があるが、騒音値についてはあくまで長期的な目線で見るべきであり、より低騒音の新鋭低騒音機の出現によって、池田市内における航空機騒音の軽減が期待できる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	10市協を通じて騒音値軽減の要望を実施。航空会社による低騒音機による騒音軽減運航が実施されているが、A滑走路の使用割合の向上等により、神田会館の騒音値(WECPNL)が環境基準を若干上回っている。今後、環境基準が達成されるよう、引き続き要望する。	
現在抱える課題と対策	課題	遅延便の大幅な増加。
	対策	大阪国際空港周辺都市対策協議会(10市協)の運動方針を通じて、遅延便の遅延便の発生抑制対策を講じることを、関係者に要望する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	遅延便対策に関して、関係市間で調整を図っていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 にぎわい戦略室 空港・観光課		担当課長名	村上 弘	
(※)第2期実施計画の事業名	民家防音空調機器更新工事補助事業		財務会計上の事業名	民家防音空調機器更新工事補助事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1033	2	財務会計上の短縮番号	234	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第3節大阪国際空港の活用			
	項目	項目3周辺環境の整備			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	空港周辺地域住民の安全で良好な生活環境の確保。
事業の対象 (誰を、何を)	航空機騒音対策防止法上の第1種騒音対策区域内 対象件数:約1,943世帯
事業の手段・方法 (どのように)	関西エアポート株式会社及び府の助成後の住民基本負担額のうち一定率を助成。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市空調機器更新工事住民基本負担額補助金交付要綱

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,315		499		387		1,214		77.6%
主な内訳	補助金	1,315		499		388		1,214		77.8%
										-
人件費(人・千円)		0.35	2,590	0.29	2,204	0.20	1,560	0.17	1,326	69.0%
内訳	正職員	0.35	2,590	0.29	2,204	0.20	1,560	0.17	1,326	69.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,905		2,703		1,947		2,540		72.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,905		2,703		1,947		2,540		72.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	処理件数が少なく(平成30年度11件)、委託するメリットが見込めないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	空調機器機能回復補助費	千円	1315	499	387	1672	1672
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	神田会館における騒音値	WECPNL	70	71	71	69	69
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	空調機器機能回復補助件数	回	30	13	10	11	11
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				更新工事助成の申請に対し、適切な審査を経て補助を行った。ただし、神田会館だけでなく騒音値が上昇することに関しては、今後の空港運営権者による騒音地軽減方法を注視していく。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				空調機器の普及の実態に即した助成内容の見直し、および空調機器の4回目の更新区分の創設等の検討の余地があるため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	従来通り、制度の周知および適切な処理手続きを行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	適切な基準額の検証・4回目の更新工事区分の創設等についての検討が必要。
	対 策	空港運営権者である関西エアポート株式会社との協議・検証等の要望。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	空調機器の普及および航空機騒音の低減により、本助成制度は内容を見直す時期に入っていると認識している。しかし国の法定制度に準拠している事業であり、且つ空港周辺地域に対しての助成の歴史的経緯、近隣市の状況等を考慮したうえで、関西エアポート株式会社との協議を通じ、本市としての方針を検討する必要がある。	